

こどもいけん広場

せんだいしきょういくこうそう

「仙台市教育構想2026」

ウェブ
Webアンケート



フィードバック資料

せんだいしきょういくきょくそうむか
仙台市教育局総務課

せんだいしきょういくこうそう 「仙台市教育構想2026」ってなに？	1
どうして子どもたちから意見 ^{いけん} をきいたの？	2
ウェブ ^{ウェブ} アンケートの内容 ^{ないよう}	3
意見 ^{いけん} はどうしたの？～①の質問 ^{しつもん} ～	4
意見 ^{いけん} はどうしたの？～②の質問 ^{しつもん} ～	7
ほかにはどんな意見 ^{いけん} があったの？	10
きょういくちょう 教育長からのメッセージ	11

「仙台いしきょういくこうそう 「仙台市教育構想2026」ってなに？」

せんだいしきょういくこうそう
「仙台市教育構想2026」は、
きょういく
仙台市教育委員会がつくった、こどもやおとなへの教育
をどのように進めていくのかをまとめた計画です。

しゃかい ようす おお か なか とりくみ かえ ひと そだ
社会の様子が大きく変わる中で、これまでの取組をふり返し、「どのような人を育てた
いのか」「教育とまちづくりをどのようにつなげて進めていくのか」をかんがえてつくりまし
た。



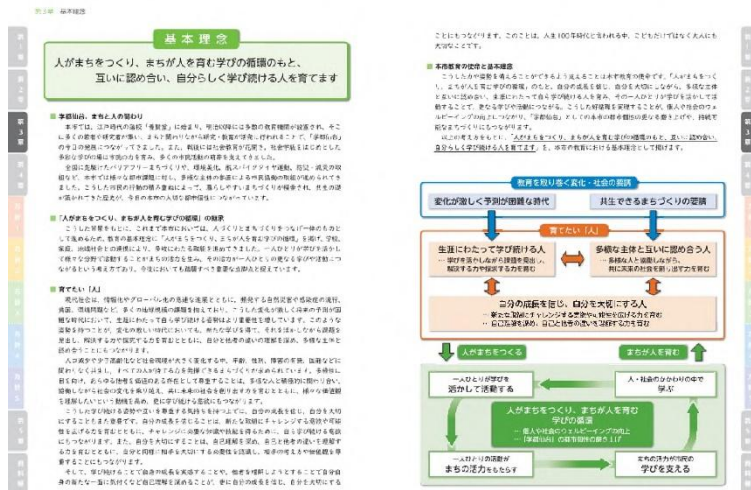
仙台市教育構想
2026



令和8年3月
仙台市・仙台市教育委員会



きょういくこうそう
教育構想は[こちら](#)から見ることもできます。

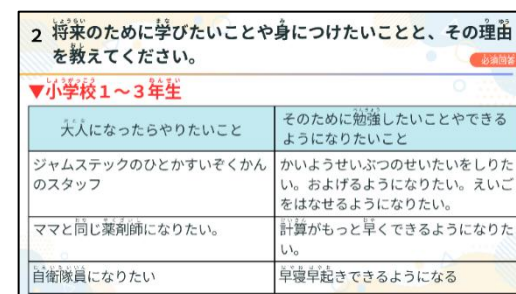
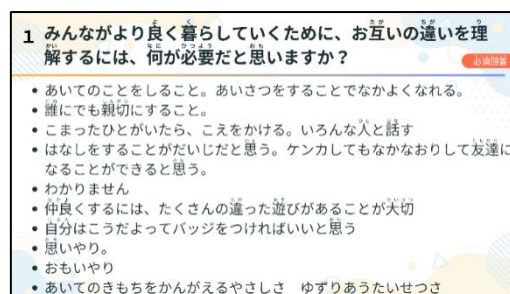
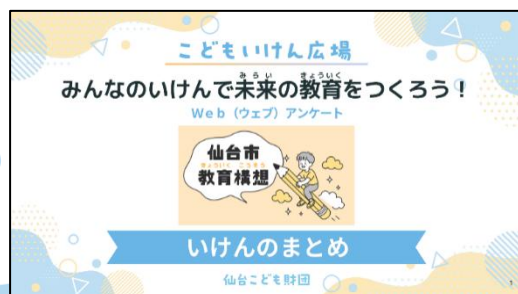


どうしてこどもたちから意見をきいたの？

「仙台市教育構想2026」は、10年、20年先の未来も考えながら、これからの教育をどうしていくかを定める大切な計画なので、みなさんが楽しく学べる、素敵な学校やまちにしていくなためのものにしたいと考えました。そのために、社会の一員であるみなさんに、「どんな学校なら楽しく学べるか」「将来のために何を身につけたいか」といった、意見や思いをきかせてもらいました。

こどももおとなも楽しく学び、より良い未来をつくるための、貴重な意見がたくさん集まりました。

みなさんの意見は、こどもいけん広場のウェブサイト「[いけんのまとめ](#)」として公開しています。



ウェブアンケートの内容

テーマ名	みんなのいけんで未来の教育をつくろう！
対象	しょうがっこう ねんせい ちゅうこうせいねんだい 小学校1年生～中高生年代
回答期間	れいわ ねん がつ にち きん 令和7年8月15日(金)から がつ にち きん 9月5日(金)まで
回答者数	しょうがくせい めい ちゅうこうせいねんだい めい 小学生75名・中高生年代17名
質問内容	①みんながより良く暮らしていくために、お互いの違いを理解するには、何が必要だと思いますか。 ②将来のために学びたいことや身につけたいことと、その理由を教えてください。

ひろば
こどもいけん広場

「みんなのいけんで
未来の教育をつくろう！」

いけん募集中

回答期間：令和7年8月15日(金)～9月5日(金)

仙台市教育委員会では、こどもやおとなへの教育をこれからどのように進めていくのかをまとめる、大切な計画「教育構想」を作る予定です。
お互いの違いを大事にしながら、みなさんが自分らしく学べる、素敵な学校やまちにしていけるために、みなさんのいけんをきかせてください。

仙台市教育長 天野 元

メンバー登録・アンケート回答はこちら▼

<https://sendai-kodomo.jp/iken/>

アンケートに回答するには、メンバー登録が必要です

QRコード

質問内容

みんながより良く暮らしていくために、お互いの違いを理解するには、何が必要だと思いますか？

将来のために学びたいことや身につけたいことと、その理由を教えてください。

対象

①と②の両方にあてはまる方

①小学校1年生から中高生年代の方

②仙台市内に住んでいるか、仙台市内の学校に通っている方

仙台市教育委員会・公益財団法人仙台子ども財団

いけん 意見はどうしたの？～①の質問～

①みんながより良く暮らしていくために、お互いの違いを理解するには、何が必要だ
おも
と思いますか。

みなさんの意見

- じぶん
自分のことを理解すること
- あいて きも かんが やさ
相手の気持ちを考える優しさ
- おも かいわ たす あ
思いやりと会話、助け合い
- たが ひてい
お互いを否定しないこと
- いろいろ ひと し あいて よ
色々な人のことを知って、相手の良いところを認めること
- いろいろ くに ぶんか でんとう し
色々な国の文化、伝統を知って、それぞれの違いが分かること
- コミュニケーション
- たが し ひつよう がくねん
お互いを知ることが必要であり、学年などを超えて交流できる場があれば良い
- しょうがい ひと こうれいしゃなど せいかつ たいかん
障害がある人、高齢者等の生活を体感すること

いけん 意見はどうしたの？～①の質問～

せんだいしきょういくいいんかい かんが と い ないよう 仙台市教育委員会の 考 えと取り入れた内容

- より良く暮らしていくためには、自分や相手のことを良く知り、お互いを思いやったり、認め合うことが大切と 考 えていることがわかりました。これからも、お互いの 命を大切にし、豊かな心を 育 むための取組や授業の充実に取り組みでいきます。

きょういくこうそう と い ✋ 教育構想のここに取り入れました

- 人権教育等について、これまでの授業実践を踏まえた改善や関係機関との連携を図りながら、児童生徒の豊かな心を育むための取組の充実に努め、児童生徒が人権の意義・内容や重要性について理解し、自他の大切さを認める態度や意識の向上を図ります。
[p.27 施策1-4 取組方針]
- 命を大切にする教育の授業実践を踏まえたプログラムの改善を図り、豊かな心を育む効果的な授業実践を通して、児童生徒が互いの命を大切にする心を育み、望ましい人間関係の形成や自己肯定感の向上を図ります。
- [p.27 施策1-4 取組方針]

いけん 意見はどうしたの？～①の質問～

せんだいしきょういくいいんかい かんが と い ないよう 仙台市教育委員会の 考 えと取り入れた内容

- いろいろ くに ねんれい ひと こうりゅう
色々な国や年齢の人たちと交流することが、お互いの違いについて知ることにつ
ながると かんが じゅぎょう ひ び せいかつ なか
ながると 考 えていることがわかりました。授 業や日々の生活の中で、さまざまな
ぶんか ひと ふ あ かんきょう と く
文化や人などと触れ合える環 境 づくりに取り組んでいきます。

きょういくこうそう と い ☞ 教 育構想のここに取り入れました

- こどもたちが早くから多様な価値観や文化に触れ、柔軟な思考や国際感覚を身に付けることができるよう、
がいこくごきょういく すいしん ぜんしりつしょうがっこう だんかいてき はいちかくじゅう くわ ざいがいきょういくしせつはけんとう
外国語教育を推進するとともに、全市立小学校へのALTの段階的な配置拡充に加え、在外教育施設派遣等の
けいけん きょういん りゅうがくせい こくさいこうりゅう かつよう じゅぎょう にちじょう なか しぜん いぶんか ふ
経験のある教員や留学生、オンラインによる国際交流などを活用し、授 業や日常の中で自然に異文化に触れら
れる環 境を整備していきます。[p.28 施策2-1 取組方針]
- たようせい みと あ そうごりかい ふか じどうせいひとり あんぜん あんしん す がっこう
多様性を認め合い、相互理解を深めることで、児童生徒一人ひとりが安全で安心して過ごせる学校となるよう、
いっそう しょうがいりかいきょういく すいしん と く しさく とりくみほうしん
一層の障 害理解教育の推進に取り組みます。[p.38 施策3-2 取組方針]

いけん 意見はどうしたの？～②の質問～

② しょうらいのためにまなぶたいことやみにつけたいことと、そのりゆうをおしえてください。

みなさんのいけん 意見

- グローバルにかつやくするためにいきた
えいごまな
英語を学びたい
- ひととのコミュニケーションは必要だと思
ひつようおも
うため、コミュニケーション能力がまな
のうりよく
る場所が欲しい
- まないよくたも
学ぶ意欲を保つためにもわく
とらわれ
がくねんがっこう
ず学年や学校をまたいでまな
きかい
学ぶ機会がほ
しい
- はつめいか
発明家になりたいため、プログラミング
べんきょう
を勉強したい。
- せんしゅ
スポーツ選手になりたいためがっこう
うんどうれんしゅう
運動や、練習をし、たいりよく
つ
体力を付けたい。

いけん 意見はどうしたの？～②の質問～

せんだい し きょういく い いんかい かんが と い ないよう 仙台市教育委員会の考えと取り入れた内容

- ことば ねんれい ちが こ ひと かんが まな つづ
言葉や年齢などの違いを超えてさまざまな人と関わり、学び続けることが
たいせつ かんが まな おも せっきよくてき
大切と考 えていることがわかりました。学びたいという思いや、積極的にコミュニ
ケーションをとりたいという思いを持ち続けられるような教育を進めていきます。

きょういくこうそう と い 教育構想のここに取り入れました

- とうじしゃ いしき たしや せっきよくてき はか もんだい はっけん かいけつ ししつ のうりよく いくせい
当事者意識をもって他者と積極的にコミュニケーションを図り、問題を発見・解決できる資質・能力を育成するた
め、きょういくかていとくれいこうせいど かつよう しょうちゅうがっこう いっかん まな えいご かく しんきょうか れいわ ねんど
教育課程特例校制度の活用による小中学校で一貫して学ぶ英語を核とした新教科について、令和11年度の
ぜんしりつしょうちゅうがっこう じっし む じゅんぴ すす しさく とりくみほうしん
全市立小中学校での実施に向けて準備を進めます。[p.28 施策2-1 取組方針]
- かくきょうか かんれんづ とりくみ すす い ちから いくせい とお じどうせいと まな い ぎ じっかん みずか
各教科と関連付けながら取組を進める「たくましく生きる力」の育成を通して、児童生徒が学ぶ意義を実感し、自
らまな いよく たか ひと しゃかい かん たいせつ たいど じょうせい へんか はげ じだい い め ちから
学ぶ意欲を高めることや、人や社会との関わりを大切にする態度の醸成など、変化の激しい時代を生き抜く力
はぐく しさく とりくみほうしん
を育みます。[p.29 施策2-2 取組方針]

いけん 意見はどうしたの？～②の質問～

せんだいしきょういくいいんかい かんが と い ないよう 仙台市教育委員会の 考 えと取り入れた内容

- それぞれのなりたい職 業^{しよくぎょう}や夢^{ゆめ}に向けて、どうい^{ちから}う力^{ちから}をつけたり、学^{まな}んだりすればよいか、みなさんが考^{かんが}えていることがよく伝^{つた}わってきました。みなさんの能力^{のうりよく}を最大限^{さいだいげん}引き出^ひせるよう、一人^{ひとり}ひとりにあ^{まな}った学^とびがで^くきるよう^とに取^くり組^くんでい^くきます。

きょういくこうそう 教育構想のここに取り入れました

- 個別最^{こべつさいてき}適^{まな}な学^{とお}びを通^{じどうせい}して、児^と童^い生^い徒^い一^い人^いひ^いと^いり^いの特^{とくせい}性^{がくしゅう}や学^{しん}習^どの進^り度^か、理^あ解^{がくしゅう}度^{ほうほう}に合^{きょうざい}わ^{ちようせい}せて学^と習^い方^い法^いや教^と材^いを調^と整^い
- し、個^こ々^この能^{のうりよく}力^{さいだいげん}を最大限^ひに引^めき出^ざすこと^しを^{さく}目^と指^くし^くま^とす。[p.31 施策2-4 取組方針]
- 情^{じょうほう}報^{ぎじゅつ}技^{てきせつ}術^{こうかてき}を適^{かつよう}切^{ちから}かつ効^{じょうほう}果^{ぎじゅつ}的^{とくせい}に活^{かがくてき}用^りす^{かい}る^{じょうほう}力^とと、情^{じょうほう}報^{ぎじゅつ}技^{てきせつ}術^{こうかてき}の特^{とくせい}性^{がくしゅう}の科^{しん}学^ど的^りな理^あ解^{がくしゅう}や情^{きょうざい}報^{ちようせい}モ^とラル^い・メ^とディ^くア^くリ^くテ^くラ^くシー
- 等^{とう}を併^{あわ}せて^{はぐく}育^{まな}み、学^{じりつてき}びを自^{たんきゅうてき}律^{そうぞうてき}的^{じどうせい}かつ探^{じょうほう}究^{かつ}的^{のうりよく}・創^{いくせい}造^と的^くにす^とるた^とめ^との児^と童^い生^い徒^いの情^{とくせい}報^{がくしゅう}活^{きょうざい}用^{ちようせい}能^と力^いの育^と成^くに取^とり組^くみま^くす。[p.32 施策2-5 取組方針]

ほかにはどんな意見があったの？

ご紹介したほかにも、たくさんの意見をいただきました。みなさんの意見は、これから
の教育をより良くするために、大切に参考にしていきます。

① みんながより良く暮らしていくために、お互いの違いを理解するには、何が必要だ
と思いますか。

- みんなが他の人を敬える環境
- ユニバーサルデザインの場所を増やすこと
- 人の話をしっかりと聞くこと
- 信頼や友情
- 自分のことを周りにしっかりと伝えていくこと
- 先入観・偏見をなくすること など

② 将来のために学びたいことや身につけたいことと、その理由を教えてください。

- どんな仕事でも楽しく過ごしたいため、さまざまな物事を楽しむ力を身につけたい
- 生活に役立てるために、法律について学びたい
- 仕事と好きなことのメリハリをつけるため、時間の管理の仕方を身につけたい など

きょういくちょう 教育長からのメッセージ

あたら 新^{あたら}しい教育^{きょういく}構^{こう}想^{そう}のため^{ため}に意^い見^{けん}をきか^きせてくれ^{くれ}たみなさん、あ^ありが^りが^ごう^ざい^{まし}た。

みなさんがこれ^{これ}からより良^よく暮^くらして^{して}いくた^ために、何^{なに}が^ひつ^{よう}で、何^{なに}を^まな^なび、ど^どの^{よう}な^おと^と
な^なに^にな^なり^{たい}か^{かな}ど、た^たく^さん^の意^い見^{けん}をき^きくこ^ことが^たい^へん^{さん}こ^うで^でき^て大^{たい}変^{へん}参^{さん}考^{こう}に^にな^なり^{まし}た。

みなさんが教^おえ^してくれ^{くれ}た「お^お互^たい^みを^あ認^{たい}め^せ合^つうこ^きとが^も大^じ切^ぶん^あ」とい^いう^あ気^き持^もち^や「自^じ分^ぶに^あ合^あっ^た
ま^まな^な学^まび^がほ^ほしい」とい^いう^おも^もい^とい^いを^きり^いれ、よ^より^きよ^きい^き教育^{きょういく}構^{こう}想^{そう}をつ^つく^くるこ^ことが^たい^へん^{さん}こ^うで^でき^てまし^た。

みなさんとい^いっ^しよ^よにつ^つく^くつ^た「仙^{せん}台^{だい}市^し教^{きょう}育^{いく}構^{こう}想^{そう}2026」を^をも^もと^とに、み^みな^なさん^のが^たの^まな^なに^に楽^{らく}しく^まな^なべ^べ
る、す^すて^きな^がこ^こう^めが^ざ学^が校^{こう}や^やま^まち^ちを^をめ^めざ^ざし^して^てい^いき^きま^ます。

せん^{せん}だい^{だい}し^しき^きょう^{ょう}いく^{いく}い^いん^んかい^{かい}き^きょう^{ょう}いく^{いく}ち^ちょう
仙^{せん}台^{だい}市^し教^{きょう}育^{いく}委^い員^{いん}会^{かい}教^{きょう}育^{いく}長^{ちやう}

あ^あま^まの^の げ^げん
天^あ野^ま 元^{げん}

